

計画相談支援・障がい児相談支援の充実について

相談支援部会のセルフプランに関する協議において、基幹相談支援センターと各相談支援事業所間で「連携体制の強化」が必要であること、また、セルフプラン率（資料3-2）をゼロにすることだけでなく、“相談支援事業者が関与することで利用者にとって有益なサービス提供につながる”ということを知ってもらうことが、当事者をはじめ関係機関にも周知される必要があることを確認した。

令和4年度より、基幹相談支援センターと各相談支援事業所間で「連携体制の強化」に取り組むとともに、セルフプラン利用者が計画相談支援に関心を持ってもらう機会の創出について、『計画相談支援 出張 説明会』を提案し、実施した。

令和5年度においても、下記のとおり、継続実施予定。計画相談の理解促進・関係機関の連携に繋げる。

1 実施概要

『計画相談支援 出張 説明会』
<p>○背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援事業所に繋がった方がよい（緊急対応が予測される等）と思われるケースについて、必要性を伝える機会が福祉事務所等に限られる。 ・計画相談支援の制度を知る機会が、障がい福祉サービス等を申し込む時期に限られる。 ・児童の時に保護者がセルフプランを作成し、成人に移行時も計画相談の有効性を理解せず、そのまま引き継いでセルフプランになっている人がある。 …など <p>○概要</p> <p>【1】場所 …… 親の会、特別支援学校の就労説明会、福祉園保護者会 …など</p> <p>【2】実施主体…相談支援部会員・区（福祉部 障がい政策課自立支援係、障がいサービス地域生活支援係、福祉事務所）</p> <p>【3】内容……………計画相談支援の魅力を伝える。（例：身近な相談相手ができる…など）</p> <p>○『計画相談支援 出張説明会』チラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙参照

2 実施状況

実施状況	日 程	依頼団体等	場 所
実施	令和5年3月28日	高島平福祉園（生活介護・就労継続支援B型）家族会	障がい者福祉センター
予定	令和5年7月26日	高島特別支援学校 教員	高島特別支援学校
予定	調整中	ダウン症児・者 親の会	障がい者福祉センター

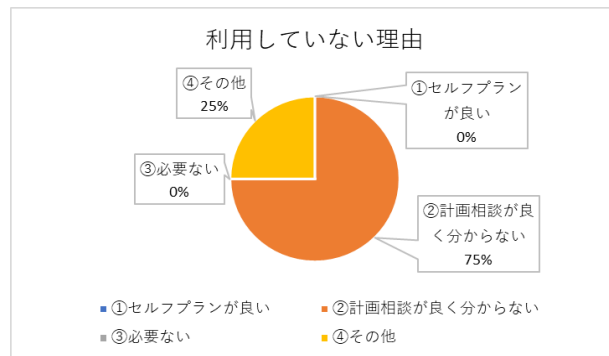
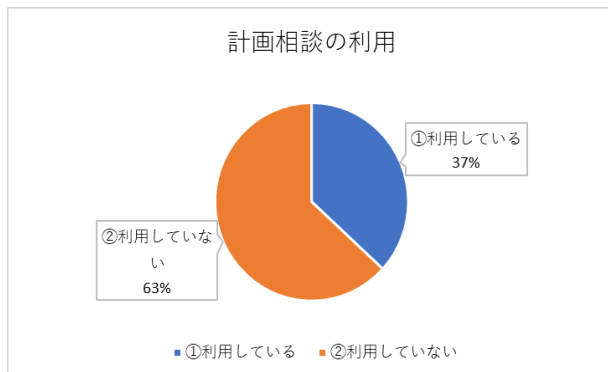
参考 第1回 計画相談支援 出張 説明会 のアンケート結果について

1 回答者数

参加者数	21名
アンケート回収	19名（回収率 90%）

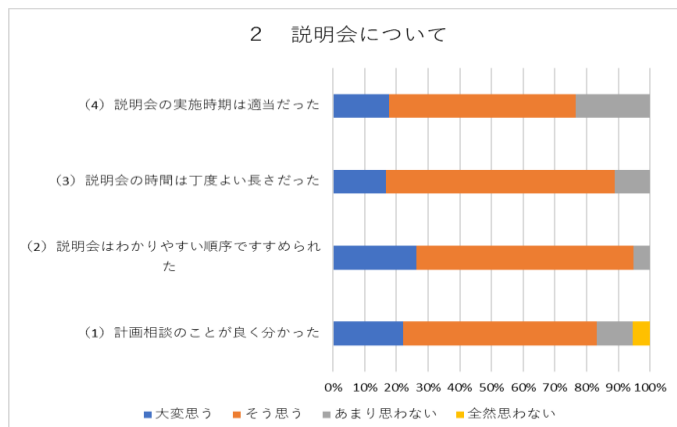
2 アンケート結果

○計画相談の利用状況、利用していない理由



※④その他 事業所を決められない、考えていなかったなど

○説明会についての感想



○参加して良かったと思われる点やご質問等（自由記述）

- ・ 同じ障がい者の親である相談員さんからのお話が、良く分かり、とても参考になった。
- ・ 親が生きているうちに知っておかねばならないことに関して、詳しく教えて欲しい。
- ・ 高齢のケアマネージャーさんと計画相談支援員との違いがわかり難い。
- ・ どこまで相談支援員さんに頼ったら良いか判らない。
- ・ 相談支援の役割を細かく聞けて良かった。メリットが良く分かった。
- ・ 話を聞いて、計画相談支援を考えてみようと思った。
- ・ これからも、このような説明会を実施していただきたい。
- ・ 時間が足りなかった。もっと実例があれば、よりよかった。
- ・ 事業所の受け入れができないという話は、すっきりしなかった。
- ・ 改めて相談員との関係を考える時間を持てた。